

2023 年度 学習時間・学習実態のアンケート調査（短大生調査）結果

- 調査対象 2023 年度 1.2 回生全員
- 調査時期 2023 年 9 月
- 調査方法 Web 調査
- 有効回答(集計)者数 388 名（回収率 99%）

※2023 短大生調査

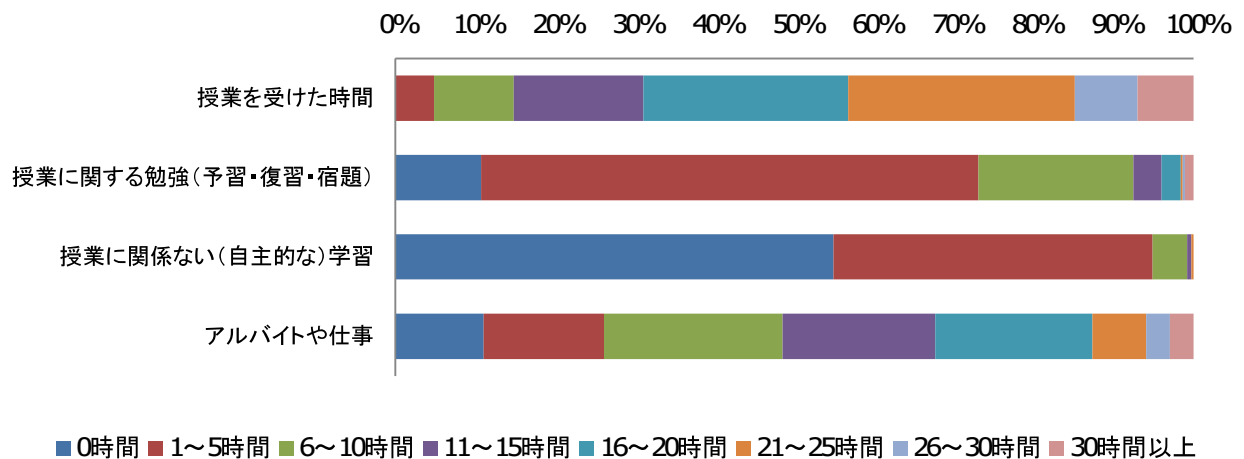
短期大学基準協会会員校の内 69 短期大学が参加（調査対象学生数 18,151 名）

有効回答（集計）者数 14,815 名

『短期大学学生に関する調査研究－2023 年調査 全体集計結果報告－』

2024 年 3 月 一般財団法人大学・短期大学基準協会より

A. あなたは今学期のふつうの 1 週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。



2022 年度 学習時間・学習実態のアンケート調査（短大生調査）結果

- 調査対象 2022 年度 1.2 回生全員
- 調査時期 2022 年 9 月
- 調査方法 Web 調査
- 有効回答(集計)者数 423 名（回収率 99.1%）

※2022 短大生調査

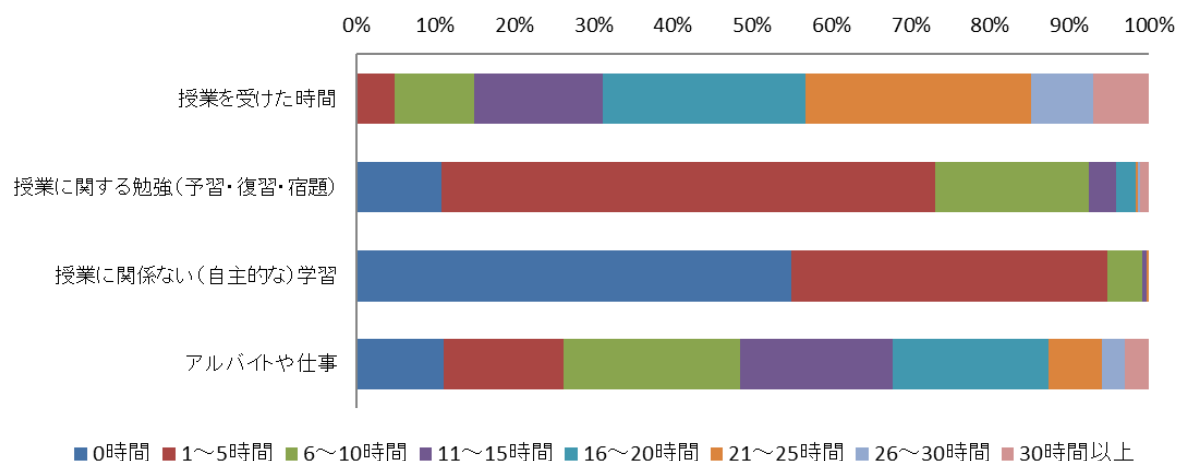
短期大学基準協会会員校の内 70 短期大学が参加（調査対象学生数 20,735 名）

有効回答（集計）者数 16,527 名

『短期大学学生に関する調査研究－2022 年調査 全体集計結果報告－』

2023 年 3 月 一般財団法人短期大学基準協会より

A. あなたは今学期のふつうの 1 週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。



2021 年度 学習時間・学習実態のアンケート調査（短大生調査）結果

- 調査対象 2021 年度 1.2 回生全員
- 調査時期 2021 年 9 月
- 調査方法 Web 調査
- 有効回答(集計)者数 437 名（回収率 95.2%）

※2021 短大生調査

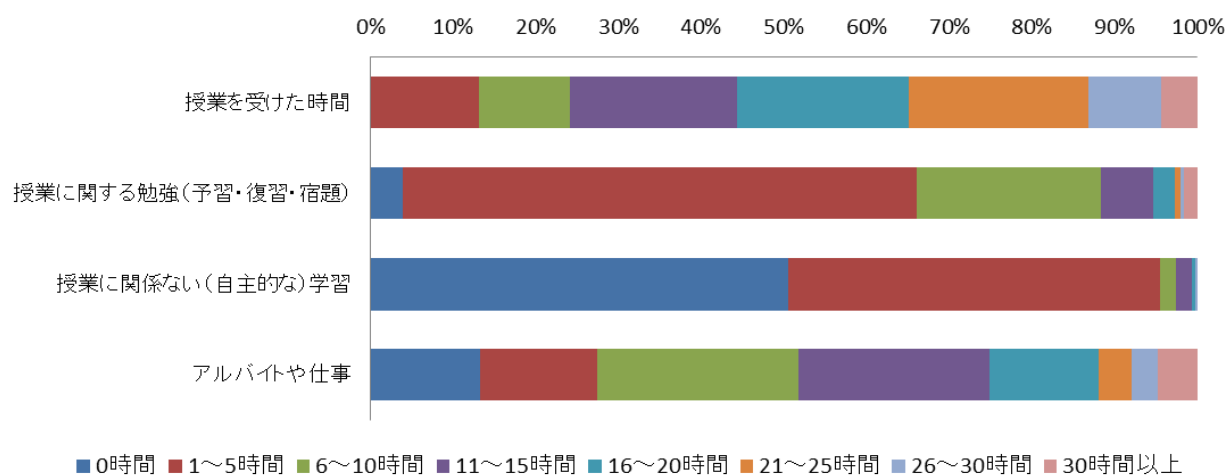
短期大学基準協会会員校の内 73 短期大学が参加（調査対象学生数 20,076 名）

有効回答（集計）者数 16,575 名

『短期大学学生に関する調査研究－2021 年調査 全体集計結果報告－』

2022 年 3 月 一般財団法人短期大学基準協会より

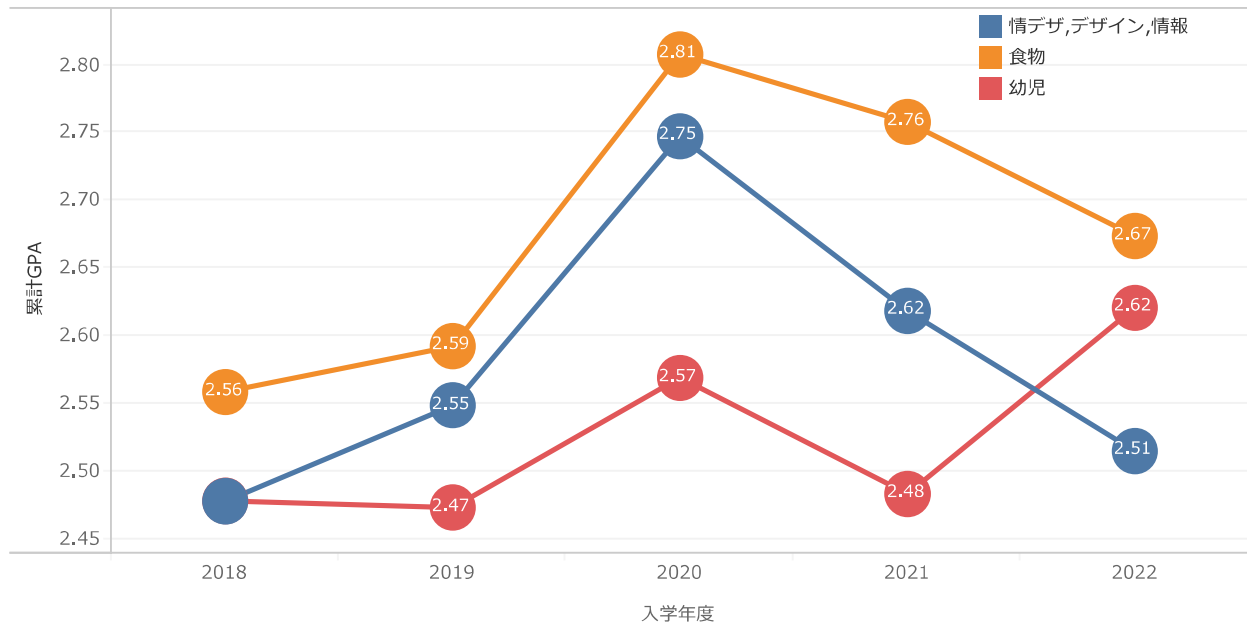
A. あなたは今学期のふつうの 1 週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。



累計GPAの経年変化と推移

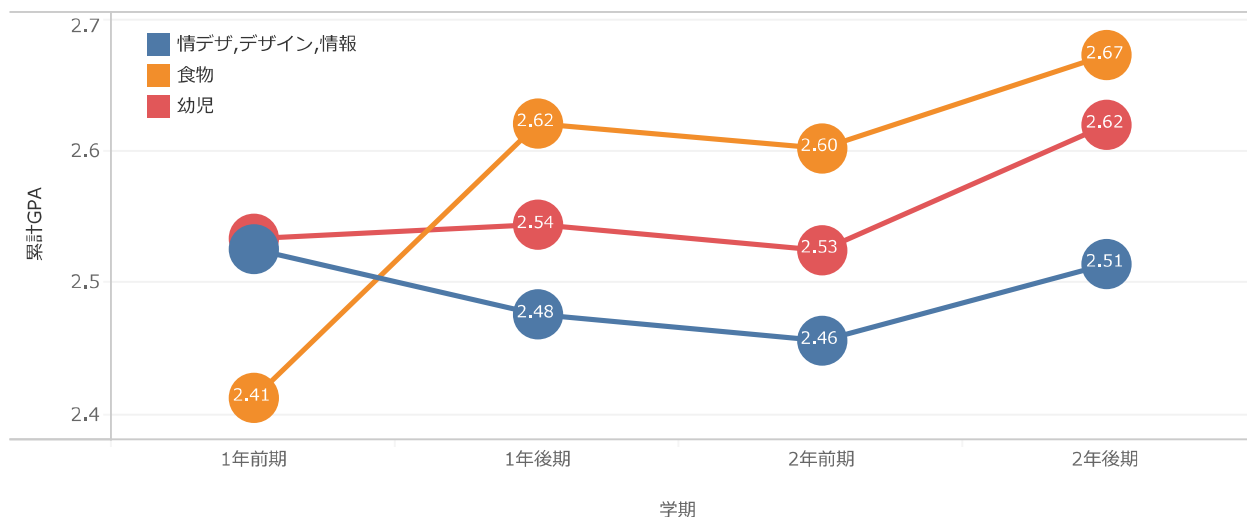
以下は、2018～2022年度入学生の累計GPA（その期終了時まで履修した全科目のGPA）の経年変化と2022年度入学生における累計GPAの学期推移を示している。2020年度入学生は新型コロナウイルス蔓延の影響下において様々な要因によりGPAが高かった。2022年度入学生においては、幼児において過去5年でも最も卒業時GPAが高かった。また、食物は1年前期のGPAが低かったもののその後上昇し、高水準を維持したまま卒業した。情デザにおいてはコロナ禍前の水準となった。

卒業時累計GPAの経年変化



※縦軸は2018～2022年度入学生の卒業時における累計GPAの平均値を、横軸は入学年度を示す。退学者、卒業までに各期の学期GPAが0であった学生、休学後の復帰学生、および科目等履修生等はデータから除外した。※青色の「情デザ、デザイン、情報」には、2020年度入学生まで生活情報専攻、および生活デザイン専攻の学生が、2021年度からは情報デザイン専攻の学生が含まれる。

2022年度入学生における累計GPAの推移



※縦軸は2022年度入学生の各期における累計GPAの平均値を、横軸は学期を示す。各期において退学者、各期の学期GPAが0であった学生、休学後の復帰学生、および科目等履修生等はデータから除外した。

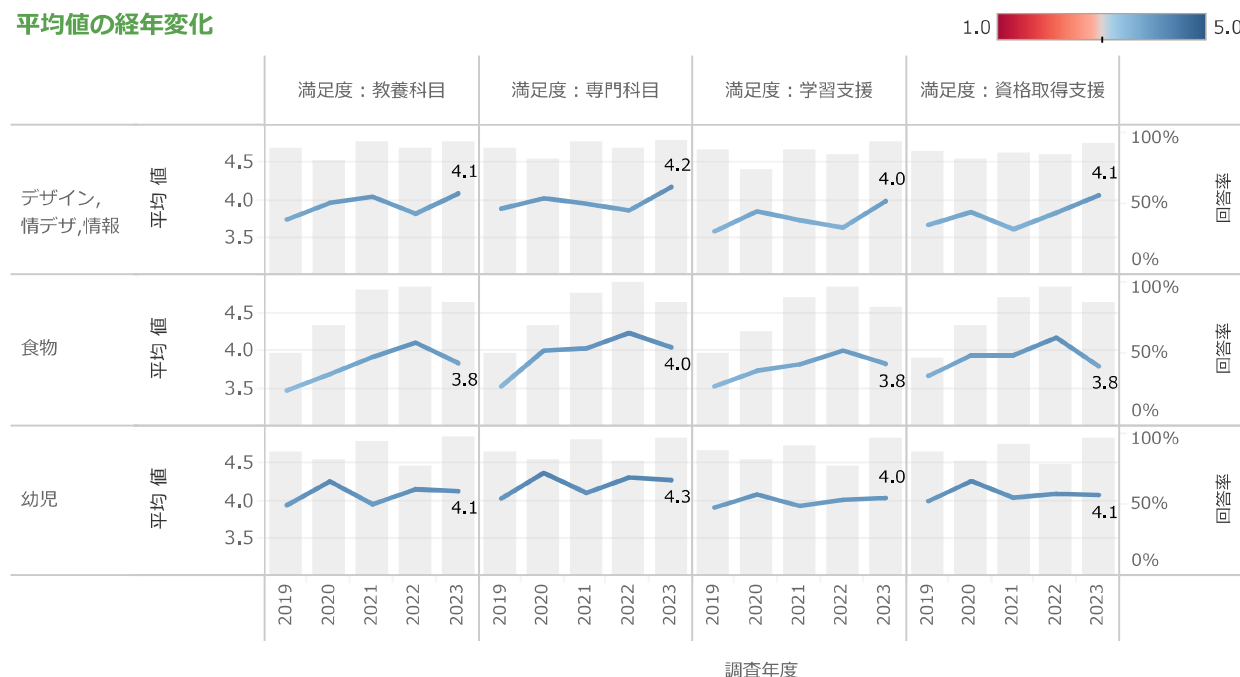
※青色の「情デザ、デザイン、情報」には、2020年度入学生まで生活情報専攻、および生活デザイン専攻の学生が、2021年度からは情報デザイン専攻の学生が含まれる。

満足度の経年変化 -短大生調査結果より-

以下は「あなたは、本学の教育にどの程度満足していますか。」という設問に対し、各調査年度の2年生が各種項目を5:満足、4:やや満足、3:普通、2:やや不満、1:不満、わからないで回答した結果（わからないは除外）の平均値（上）および項目別回答割合（下）を示したグラフである。全ての項目で概ね満足度が高い傾向を維持している。

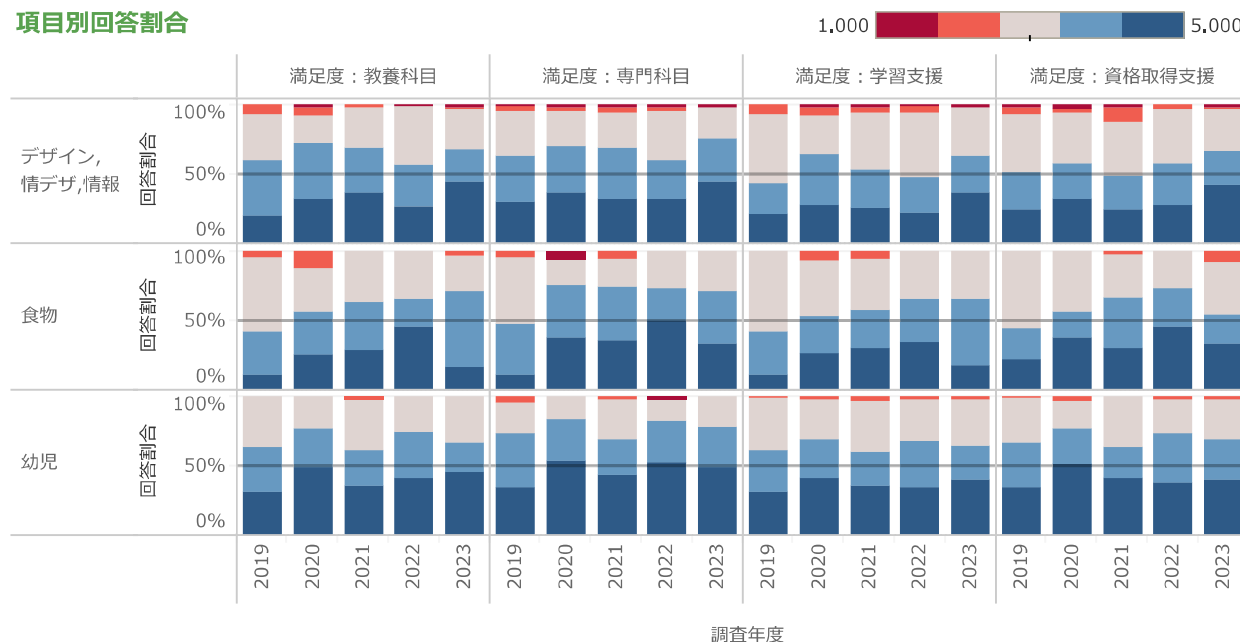
※「デザイン、情デザ、情報」には、2020年度入学生まで生活情報専攻、および生活デザイン専攻の学生が、2021年度からは情報デザイン専攻の学生が含まれる。

平均値の経年変化



※ 折れ線は平均値を、棒グラフは回答率（回答者数/2年後期在籍数）を示している。回答は5件法のため平均値の最小は1、最大は5となる。平均値のスケールは普通に該当する3を下限とし、満足に該当する5を上限とした。

項目別回答割合



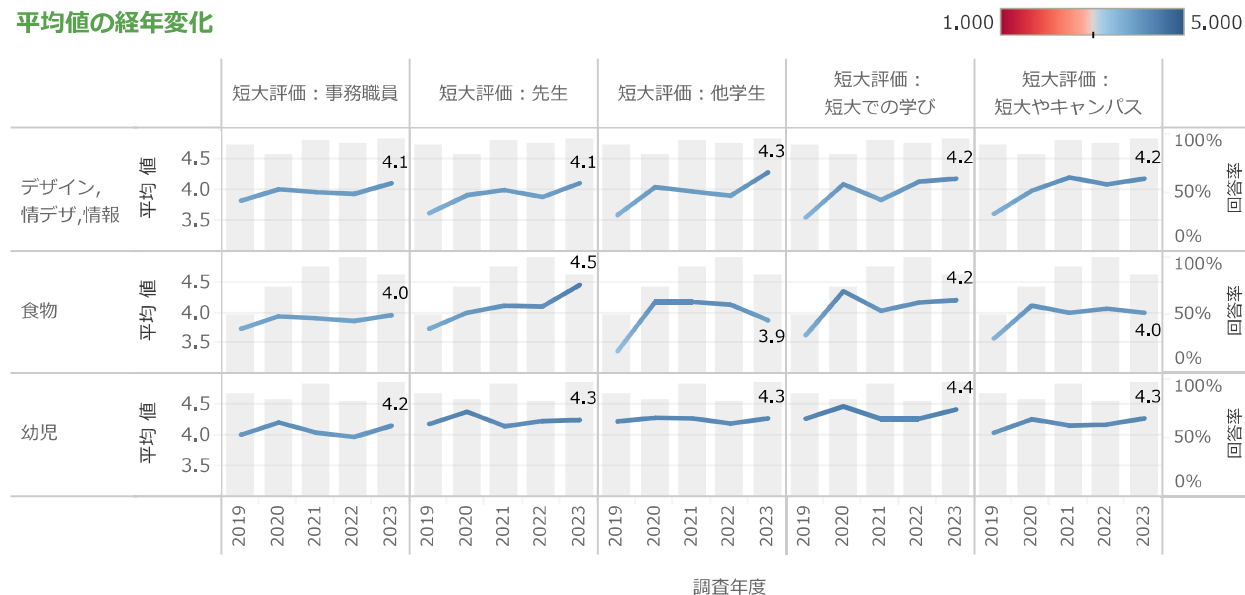
※ 濃い青は5:満足、薄い青は4:やや満足、灰色は3:普通、薄い赤は2:やや不満、濃い赤は1:不満を示している。調査年度/学科専攻別の各項目における回答数を分母とした際の回答割合を示している。

本学に関する評価の経年変化 -短大生調査より-

以下は「あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きます。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください」という設問に対し、各調査年度の2年生が5件法で回答した結果の平均値と項目別回答率を示したグラフである。なお、「事務職員」は、支援してくれる、思いやりがある、柔軟であるか、「先生」は、話しかけやすい、助けになってくれる、共感・賛同してくれるか、「他学生」は、親しみやすい、一体感を感じる、一緒にいたい、か、「短大での学び」は、十分学べている、楽しかった、意味があったか、「短大やキャンパス」は、居心地がいい、快適である、落ち着くかに関する回答である。

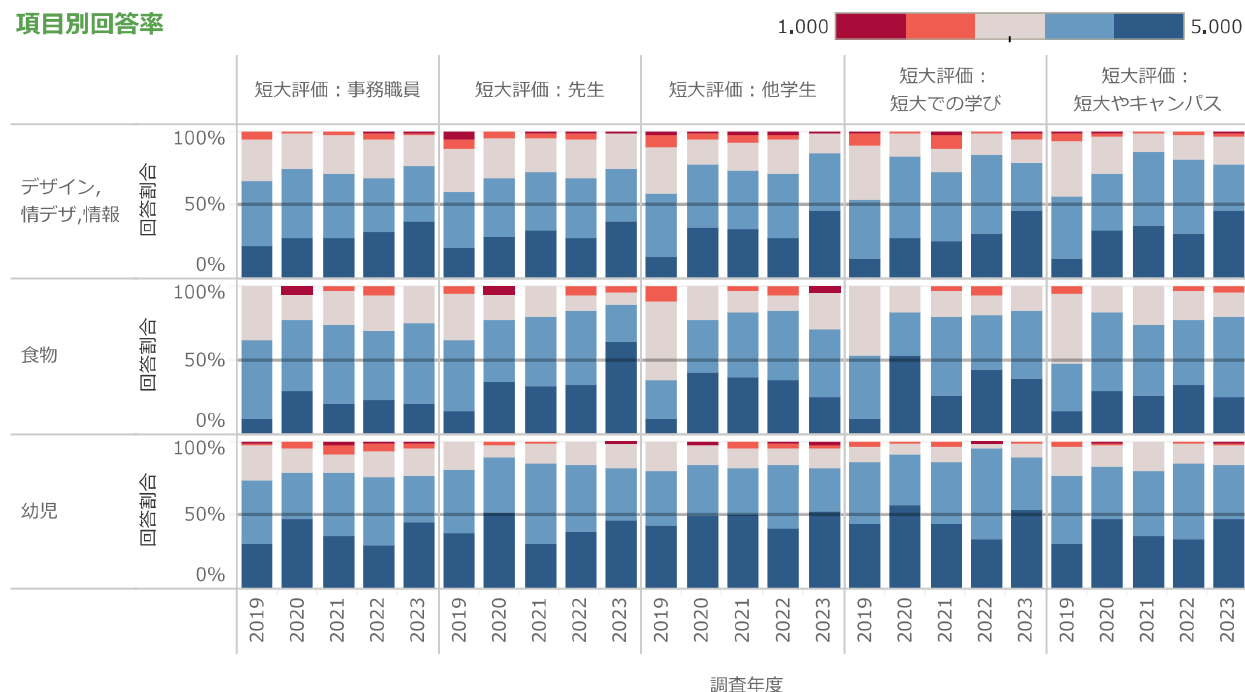
※「デザイン、情デザ、情報」には、2020年度入学生まで生活情報専攻、および生活デザイン専攻の学生が、2021年度からは情報デザイン専攻の学生が含まれる。

平均値の経年変化



※ 折れ線は平均値を、棒グラフは回答率（回答者数/2年後期在籍数）を示している。回答は5件法のため平均値の最小は1、最大は5となる。平均値のスケールは普通に該当する3を下限とし、満足に該当する5を上限とした。

項目別回答率



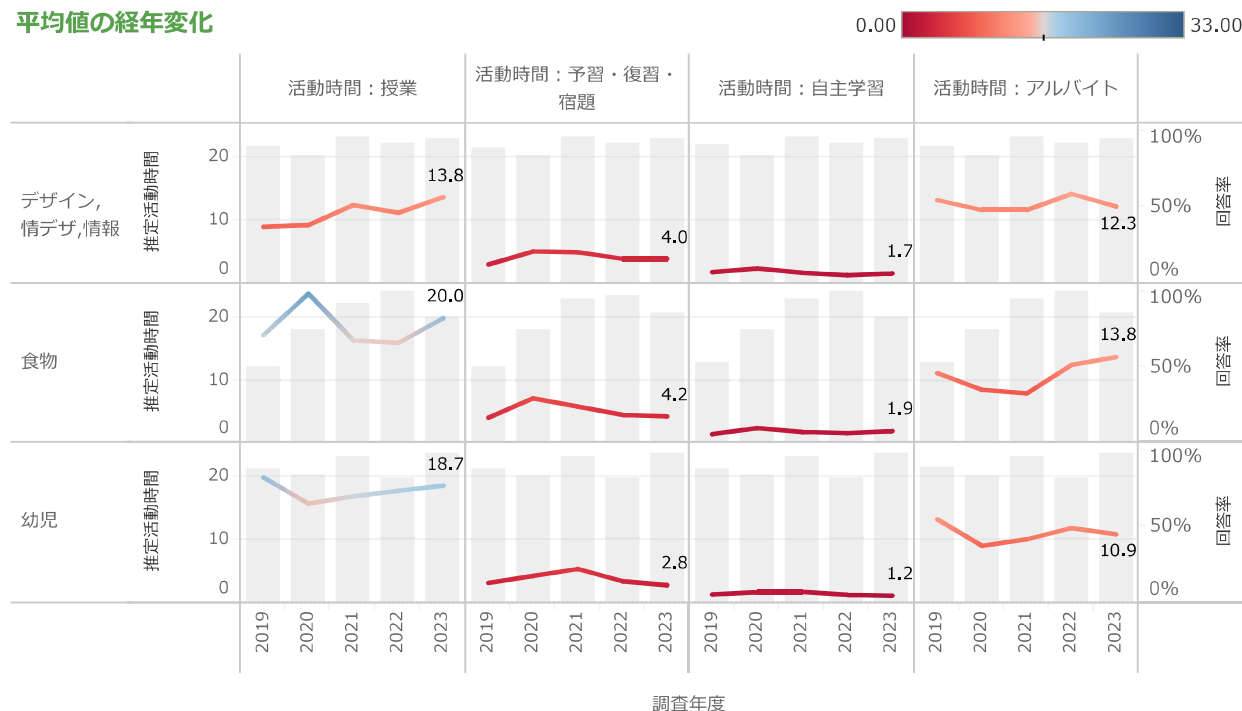
※ 濃い青は5:満足、薄い青は4:やや満足、灰色は3:普通、薄い赤は2:やや不満、濃い赤は1:満足を示している。調査年度/学科専攻別の各項目における回答数を分母とした際の回答割合を示している。

各種活動時間の経年変化 -短大生調査より-

以下は「あなたは今学期のふつうの1週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。」（調査実施時期は各年度後期）という設問に対し、各調査年度の2年生が各種項目にどの程度の時間を費やしたのかを8区分（0時間, 1～5時間, 6～10時間, 11～15時間, 16～20時間, 21～25時間, 26～30時間, 30時間以上）で回答した結果の平均値と項目別回答率を示したグラフである。なお、平均値は各区分の中央値を費やした時間と仮定（但し、0時間は0時間、30時間以上は33時間とした）して算出した1週間当たりの時間を示している。

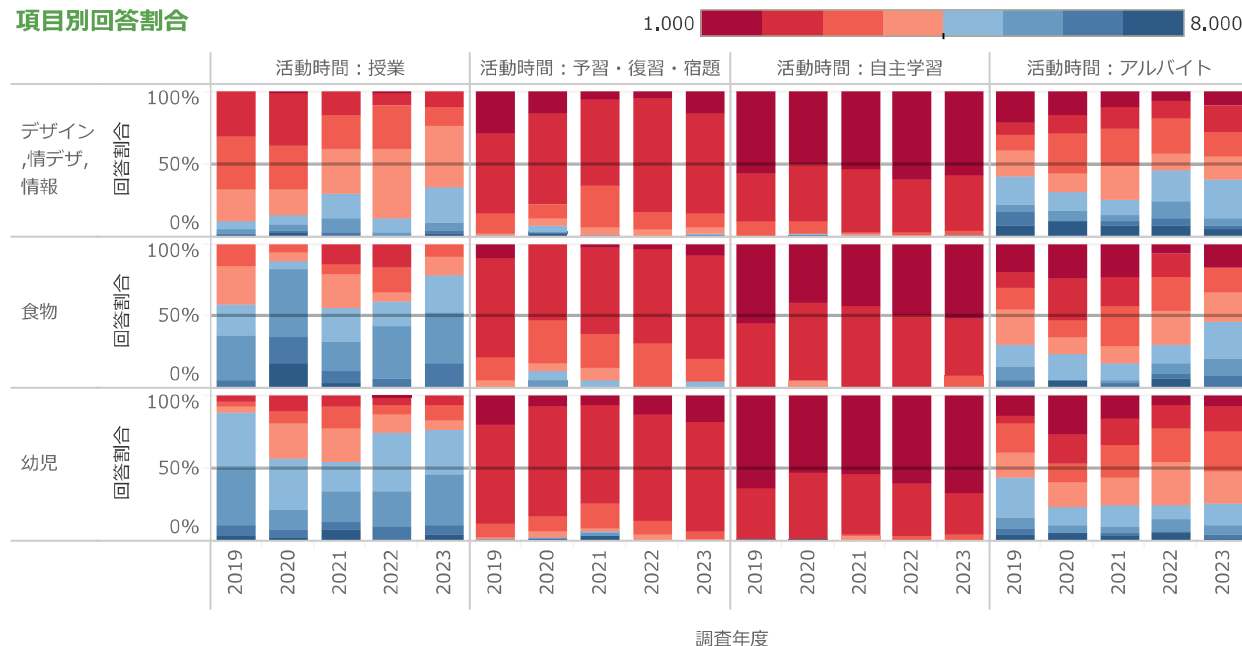
※「情デザ、デザイン、情報」には、2020年度入学生まで生活情報専攻、および生活デザイン専攻の学生が、2021年度からは情報デザイン専攻の学生が含まれる。

平均値の経年変化



※ 折れ線は推定活動時間の平均値を、棒グラフは回答率（回答者数/2年後期在籍数）を示している。

項目別回答割合



※ 青が濃いほど長時間活動をしていると回答しており、逆に赤が濃いほど短時間しか活動していないと回答している。調査年度/学科専攻別の各項目における回答数を分母とした際の回答割合を示している。